

## 第55回 SCCJセミナー開催のご案内

### 屋外での活動を支援する紫外線対策技術 ～知っておきたい サンスクリーン製剤の現在～

本セミナーは化粧品を創るためのさまざまな分野からテーマを選定し、年2回開催しております。

今回はサンスクリーン剤をテーマに選び、基礎的な知識から評価方法および製剤化まで、サンスクリーン製品の開発に欠かせない知識および最新情報について業界講師から紹介していただきます。さらに、本テーマにも関わる場面として、オリンピックを目指す選手のスキンケアについても専門の医師よりお話いただきます。

また、講演後に本セミナーの特色でもある各講師へ個別に質問ができるフリーディスカッションの場もご用意いたします。直接講師に質問することで、インターネット等では得られにくい情報や新製品のヒントも見つけられると期待されますので、こちらにも奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

..... ご案内 .....

**日 時** 2020年2月21日(金) 10:00～17:55(受付開始9:30予定)

**会 場** 京都テルサ(京都府民総合交流プラザ) 〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70  
セミナー：西階テルサホール/フリーディスカッション：東館2階セミナー室他  
M A P : [http://www.kyoto-terrsa.or.jp/lib/pdf/download/d\\_52.pdf](http://www.kyoto-terrsa.or.jp/lib/pdf/download/d_52.pdf)

**申込期間** **2019年12月20日(金)～2月6日(木) 23時59分** [締切厳守]  
※Web申し込み画面は締切時間に自動的にCloseされます。お早目にご利用ください。

<b>参加費</b>	SCCJ会員(正会員・準会員・シニア会員)	13,000円
	代理(*1正会員が不参加の場合、1名のみ会員参加費で代理参加可)	13,000円
	一般	19,000円
	当日(会員・一般ともに同額)	19,000円

**振込先** みずほ銀行 銀座支店 普通 No.1797932  
「日本化粧品技術者会(ニホンケシヨウヒンギジュツシャカイ)」

**支払期限** **2020年2月13日(木)迄**に上記の指定口座へお振込みください。  
※キャンセル締め切り後、お振り込み済みの方へ「参加費お振込み確認」のメールが届きます。  
メール内に領収証URLへのリンクがありますのでダウンロードしてご利用ください。  
※領収証ダウンロードは1回限りです。PC等へ保存後のプリントアウトを推奨します。

<参加申込方法> SCCJ Web サイト内「第55回 SCCJ セミナー」開催案内ページ内  
参加申し込みフォーム <https://www.sccj-ifsc.com/event/detail/998>

「SCCJ会員」・・・ ログイン後、必要事項をご入力の上、「申し込む」ボタンを押してください。  
会員IDとパスワード(会員本人による任意のもの)でのログインが必要です。  
ログインせずに申し込みされると会員料金は反映されません。ご注意ください。

「代理」・・・ 正会員IDでログイン後、申込画面の「代理者による参加」にチェックし、  
代理参加者欄へ必要事項をご入力の上、「申し込む」ボタンを押してください。

「一般」・・・ 必要事項をご入力の上、「申し込む」ボタンを押してください。

- 受付完了メール受信のため [sccj@sccj-ifsc.com](mailto:sccj@sccj-ifsc.com) を許可設定し、受信拒否設定をご確認ください。
- 受付完了メール内に、参加費請求書発行URLが記載されます。(推奨環境でのアクセスに限ります)
- メールアドレスの入力間違いにご注意ください。
- SCCJ会員ご自身で登録したパスワード(任意のもの)は、事務局での管理はしておりません。  
会員ID・パスワード照会([https://www.sccj-ifsc.com/lost\\_pass/](https://www.sccj-ifsc.com/lost_pass/))へ、登録済メールアドレスを  
ご入力ください。ID・パスワードが通知されます。(SCCJ配信メールが届くアドレス)  
ただし、会員IDのメール認証登録を行っていない方は、未登録の為您ご利用いただけません。

<お願い事項>

Web参加申し込みは、1名様ごとの申し込みフォームです。

複数名分の参加費を合算振り込みされる場合、受付No, 参加者名, 合計金額および振込  
予定日をお問合せフォーム(<https://www.sccj-ifsc.com/contact>)へご連絡ください。

ご連絡いただけない場合、どなたの参加費であるか判断できかねますため、同一ご所属先  
ごとに受付順で入金処理いたします。また、参加者氏名に旧姓をご使用され、振込人名と  
異なる事例が多く、着金確認に時間を要します。該当される方は、事務局へのご連絡を  
お願いいたします。

※入金確認業務の円滑化にご協力をお願いいたします。

<キャンセル締切>

**2020年2月13日(木)** ※Web参加申し込みシステムでは、キャンセル対応しておりません。

- 締切日までに、SCCJ Web サイトお問合せフォーム <https://www.sccj-ifsc.com/contact> へ  
受付No, 参加者氏名, ご所属(企業名等), ご連絡先TEL, Email アドレスをご連絡ください。
- キャンセル締切日以降のお申し出の場合、ご返金には対応いたしかねます。
- 既に参加費をお支払い済みの方へは開催終了後ご返金いたします。返金先をご連絡ください。
- キャンセル連絡をいただかずに開催当日ご欠席の場合は、後日参加費をご請求申し上げます。

<お問合せ先>

日本化粧品技術者会 事務局(本部)担当：森、千葉  
〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島1-2-11 資生堂グローバルイノベーションセンター内  
TEL：045-222-1608 / FAX：045-222-1652

ご不明な点は、お問合せフォーム (<https://www.sccj-ifsc.com/contact>) へご連絡ください。  
SCCJ Webサイト推奨環境・プライバシーポリシー (<https://www.sccj-ifsc.com/privacy/>)

# 屋外での活動を支援する紫外線対策技術 ～知っておきたいサンスクリーン製剤の現在～

## < スケジュール >

< 総合司会 今井 健仁 (ホーユー株) >

時間	題目・講師
10:00-10:05	開会の挨拶 セミナー委員長 植田 光一

< 座長 田中 一平 (岩瀬コスファ株) >

10:05-10:50	有機系紫外線吸収剤の開発の歴史、およびその効果的利用 BASFジャパン株 分部 孝範 氏
10:50-11:35	無機系紫外線散乱剤の特徴と最新動向 テイカ株 江尻 和正 氏
11:35-13:00	昼食休憩

< 座長 栗田 知子 (アサマコーポレーション株) >

13:00-13:45	紫外線防御化粧品の <i>in vivo</i> ・ <i>in vitro</i> 評価方法 三洋貿易株 佐藤 珠紀 氏
13:45-14:30	塗膜均一性と耐擦れ性に優れたサンスクリーン製剤化技術 花王株 福井 崇 氏
14:30-14:45	休憩

< 座長 尾沢 敏明 (花王株) >

14:45-15:30	高 SPF / PA と耐水性を両立させたサンスクリーン製剤の開発 ポーラ化成工業株 中谷 明弘 氏
15:30-16:30	トップアスリートのスキンケアサポート ～ オリンピックを支えている皮膚科医の話～ 国立スポーツ科学センター スポーツクリニック 上田 由紀子 先生

< 総合司会 今井 健仁 (ホーユー株) >

16:40-17:50	フリーディスカッション < 講演スライドの閲覧および各講師との個別質問コーナー >
-------------	--

17:50-17:55	閉会の挨拶 セミナー副委員長 山原 年
-------------	------------------------

## 演題 ① 有機系紫外線吸収剤の開発の歴史、およびその効果的利用

BASF ジャパン株式会社 分部 孝範 氏

要旨：サンスクリーン剤に使用される紫外線吸収剤は性能、効果、安全性、各国における規制への対応など幅広いニーズを満たすことが求められている。本講演では、効果的な紫外線防御を実現するために考慮すべき、光安定性、光老化防止、水相防御の重要性について、主に有機系紫外線吸収剤の開発の歴史を振り返りながら解説する。また、吸収・反射・多重散乱のトリプルアクション防御を可能にする有機微粒子紫外線吸収剤(水分散液)について詳しく紹介する。

## 演題 ② 無機系紫外線散乱剤の特徴と最新動向

テイカ株式会社 江尻 和正 氏

要旨：サンスクリーンに使用される無機系紫外線防御剤は、その特性から「紫外線散乱剤」と呼称され、有機系材料と併用または使い分ける形で広く使用されてきた。その中で、2019年2月に、米国FDAが紫外線防御剤に関する新たな規則案を発行した。それによれば、無機系材料である酸化チタンと酸化亜鉛が効果と安全性に優れた材料であることが示された。今回、酸化チタンと酸化亜鉛に関する材料特性と最新の素材開発、さらには無機系を中心に海外の規制動向について紹介する。

## 演題 ③ 紫外線防御化粧品の *in vivo*・*in vitro* 評価方法

三洋貿易株式会社 佐藤 珠紀 氏

要旨：近年、サンスクリーン剤をはじめとする紫外線防御化粧品の性能は日々向上し、併せてその評価方法も改善・開発されてきた。現在の評価方法は、被験者の皮膚に紫外線を照射して黒化反応を見る *in vivo* 試験と、サンスクリーン剤等を塗布したプレートやシートの分光透過率を計測し、その値から数値を算出する *in vitro* 試験が並立している。更に *in vitro* 試験にはいくつかのガイドラインが存在している。本講演では以上を踏まえ、*in vivo*・*in vitro* 両試験の概要や国際的な流れを説明するとともに、試験に使われる機器を紹介する。

## 演題 ④ 塗膜均一性と耐擦れ性に優れたサンスクリーン製剤化技術

花王株式会社 福井 崇 氏

要旨：紫外線に対する消費者意識の高まりにより、サンスクリーンの使用頻度が増えてきており、「心地よい使用感」と「高い紫外線防御効果」の両立はますます重要になってきている。更に実生活においては、耐水性や耐擦れ性といった持続性能も重要である。本講演では、サンスクリーン製剤の塗膜評価方法とO/Wサンスクリーン製剤における肌上でのUV塗膜の均一化技術と耐擦れ性に優れた製剤化技術を紹介する。

## 演題 ⑤ 高SPF/PAと耐水性を両立させたサンスクリーン製剤の開発

ポーラ化成工業株式会社 中谷 明弘 氏

要旨：近年の紫外線防御に対する意識の高まりから、多くの人が様々なシーンで日焼け止めを使用するようになった。しかし、レジャーやスポーツのシーンでは汗、水で流れ落ち、期待していた効果が得られない場合がある。そのため、日焼け止めの製剤開発では紫外線カット効果を高めるだけではなく、その効果を持続させるための耐水性技術が重要である。本講演では、一般的なサンスクリーンの製剤特徴と高SPF/PAと耐水性を両立させた技術開発について紹介する。

## 演題 ⑥ トップアスリートのスキンケアサポート ～オリンピックを支えている皮膚科医の話～

国立スポーツ科学センター スポーツクリニック 上田 由紀子 先生

要旨：2001年以来、多くの種目の選手たちの皮膚疾患の診断と治療、予防とスキンケアを担当してきた。スポーツ環境では皮膚への負担は大きく、パフォーマンス向上のために正しいスキンケアの知識が求められている。紫外線対策は戸外スポーツでは選手の健康管理の一つとして非常に重要である。オリンピックの実情を紹介し、今後もアスリートをサポートするスキンケアのアイデアをほしいと願う。